

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりの務めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

■2019年4月

エフエム八ヶ岳の第151回番組審議会は2019年4月20日、北杜市小淵沢町のエフエム八ヶ岳演奏所ホールで開かれました。4月からの新番組「伊藤美輝のアートカフェ@ラジオ」(土曜午前11時から11時15分:日曜再放送)について意見を交わしました。審議委員6名、放送局1名が出席。委員からの主な意見は以下の通りです。

- ・ アートをラジオで、ってどうなんだろう? と思いました。でも喫茶店の客役の女性2人が絵画の紹介を分かりやすくしているので、伊藤さんの説明がとても素直に入ってくるし、声も話し方も優しい感じでいいですね。北杜市の自然と番組内容を上手にマッチさせ、まるでその場にいるかのような雰囲気が醸し出されています。
- ・ この日の放送は印象派のモネの作品が対象になっていましたが、作者と絵画名は最後まで言わずに、絵や会派の特徴などを言葉を通じて客相手に説明する構成ですね。3人の会話がタッチよく展開して聞きやすかったとともに興味を持たせる効果も生んでいたように思いました。
- ・ 休日の午前11時という時間帯で、大変に楽しく聞かせていただきました。八ヶ岳の森の小さなカフェが舞台という背景もよかったです。私もコーヒーを飲みながら聞いていました。番組を聞いていて「印象派の誰かの作品を鑑賞しているのだろう」と、クイズを解くように聞き手の興味をそそり、目に見えない絵画を想像する楽しみが十分にあったと思います。
- ・ 全体的によいと思います。ラジオで楽しむ読書ならぬ「ラジオで楽しむ絵画」という感じで、ラジオの特性である想像性を膨らませる効果があつていいと思いました。15分という時間の長さも、ちょっと聞けて、集中力も途切れずにいい長さだな、と感じました。
- ・ 伊藤さんの「美は見る人の心の中にある」という言葉を実感できる素晴らしい番組だと思いました。たまたま世界的に有名な絵画が題材に取り上げられていましたが、北杜市内や韮崎市、県立美術館に収蔵されている絵画を取り上げて「絵画を聞かせる」ことをしてみたらいかがでしょう。身近にある芸術作品にもっと親んでもらうこと、近くの美術館に足を運んでもらうことにつながるのではないのでしょうか。
- ・ ラジオを聞いていて、その絵を見たいという気持ちにさせられました。美や知の魅力を駆り立ててくれるいい番組で、今後に大いに期待したいです。この種の番組が子どもたちの情操教育に果たす役割は非常に大きいと思われるので、何らかの形で市内の小学校に導入できたらいいと思います。